

し何れせぬ争議團員二名を検束させた。我等の情理を盡くして
の交渉を拒絶し、我々に飢えたる者の最後の手段を取らしめる事
を強要するものは誰ぞや!! 此の押しこめられた年の暮れにヨリ
絞らうがための工場解散を行ひ十四日分の手當で追払はうとする。
我々が飢えと寒さに泣く妻子を抱へて街頭をさまよう時、高政の
オヤヂで俺達の血と涙でたまつた黄金を苦苗妾の絹衣装に注ぎ込め別
荘行きとシヤレ込ム。俺達五十名—さんざ今まで絞られやつた俺
達—に食はせろ!! 着せろ!! 住ませろ!!

市民諸君、高政は社會の敵だ!!

當然、負ふべき責任を回避し、あくまで私慾を計らうとする。

高政は社會の敵だ。屠氷高政を!!

町民諸君!! (十二月四日)

狂暴化した溝口は
いよいよ露骨な手段に出た。

町民諸君、既報の通り溝口のオヤヂは吾々の前に餓死の爆弾をたき
つけ、其の冷酷を社會に公表するや〇〇を雇ひ吾々を冷舎に投ほ
り込まうとした。其の悪かつた謀計の外氷ると共に、手段を變へ全々我
等の交渉をはねつけ吾々か出来る限りの譲歩をして解散を承認し
其の交換条件としてその僅かふ要求をも断然拒絶した。吾々は取り付
く島もなく、溝口のお店たる(毎日は資本主)日本橋の高政商店へ嘆
願した二日には誠意のほろ様な態度を見せた高政商店は溝口と共に
翌二日、回答には武装せる官製暴力團を雇ひ何れせぬ争議團員
の中から二名の犠牲者を出した。

町民諸君!!